

【東京】広域運送事業協同組合（樋口恵一理事長）は5日、東京都羽村市の日野自動車羽村工場お客様テクニカルセンターで、ドライバース安全運転研修会（大型車）を開催した。7社（川崎陸送、高運送、都留貨物自動車、パシフィック・シー・ランド、山梨総合運輸、関東トネックス、早川運輸）から19人のドライバースが参加した。

古野英俊事務局長が「昨年度から共同教育研



初心に戻って安全運行

修をスタートし、広運協としては6回目となる。盛りだくさんの内容だが、日々の運転に役立つものを持ち帰っていた「きたい」と強調。

広運協

日野自動車お客様テクニカルセンターの浅見充興センター長から歓迎のあいさつの後、同センター

日野自動車の最新トラックをバックに全員で記念撮影

日常点検座学、走行訓練を実施

の機能やサービスの説明を受け、研修に入った。

3グループに分かれ、大型車コース走行（3軸高床、4軸低床）、日常点検、安全ミニテスト、日常点検座学、安全運転座学を学んだ。走行訓練ではインストラクターが同乗し、縦列駐車、クラック走行、バックの車庫入れの注意点を解説。日常点検では、タイヤの異物のかみ込みやナットの緩みなど重点チェック項目を再確認した。

目を再確認した。

今回は、スピードや技術を競うのではなく、あくまで安全運行について学ぶのが狙いだ。ただ、研修は終始和やかな雰囲気で行われた。日野自動車の最新トラックをバックに全員で記念撮影も行い、参加者からは「こうした研修があると、初心に戻って勉強できるので良いと思う」との感想もあった。

（石井 麻里）